

中学校社会科 単元指導計画（地理的分野） **【例】**

※指導と評価の計画について、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校社会（国立教育政策研究所）を参考に作成しています。また、1単位時間の学習課題（問い）を示しています。大分県ウェブサイトの「新学習指導要領対応 小・中学校各教科等学習指導案様式例（令和3年3月3日更新）」とは項目が異なっていますが、参考としてご活用ください。

○単元名 「北海道地方」（内容のまとめり C 日本の様々な地域(3)日本の諸地域）

学習指導要領の目標や内容、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、「北海道地方」を単元とした指導計画の例である。以下のように、「日本の諸地域」の学習の最初に本単元を位置付けている。

○単元の目標

- 北海道地方について、調査活動や諸資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べまとめ、比較的冷涼な気候と豊かだが厳しい自然環境が諸産業と結び付いていることや、環境保全への取組、それぞれの地域での持続可能な地域づくりに向けた取組と、そこで生じる冷涼な気候における地域の在り方や防災対策などの課題について理解できるようにする。
- 北海道地方の自然環境とそこで暮らす人々の生活の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子、持続可能な地域づくりに向けた取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。
- 北海道地方について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら、他者と協働してよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとするようにする。

○評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①北海道地方について、比較的冷涼な気候と豊かだが厳しい自然環境を生かしたり克服したりしながら、農業や観光業等の諸産業が行われていることや、環境保全への取組、それぞれの地域での持続可能な地域づくりに向けた取組と、そこで生じる冷涼な気候における地域の在り方や防災対策などの課題を理解している。 ②北海道地方について、調査活動や諸資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①北海道地方の特色を生かした観光の在り方について、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子や持続可能な地域づくりに向けた取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	①北海道地方について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ②他者の考えを取り入れながら、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

※【参考】中項目の指導計画（内容のまとめり C 日本の様々な地域(3)日本の諸地域）

1 (5時間) 北海道地方	2 (4時間) 東北地方	3 (4時間) 関東地方	4 (4時間) 中部地方	5 (4時間) 近畿地方	6 (4時間) 中国・四国地方	7 (6時間) 九州地方
自然環境 【○知・●技】 【●思】 【●態】	自然環境 【○知・○技】 【○思】 【○態】 ※単元テスト	交通・通信 【●知・●技】 【●思】	産業 【○知・●技】 【○思】 【●態】 ※単元テスト	人口や都市・村落 【●知】 【●思】	人口や都市・村落 【●知・●技】 【●思】	自然環境 【○知・○技】 【○思】 【○態】 ※単元テスト

●・・・学習状況を見取り、生徒の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につながる評価」

○・・・観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」

○指導と評価の計画（全6時間）

中項目の学習課題：「日本の諸地域には、どのような地域的特色や課題があり、どのようなつながりがあるのだろうか」

時	主な学習活動・ねらい	学習課題（問い）	評価の観点			評価規準
			知	思	態	評価方法
1	既習事項や体験、配付資料を参考にして北海道地方の魅力と課題について意見を出し合う活動を通して、単元を貫く課題を設定し、学習の見通しをもたせる。	・北海道地方の魅力と課題はどのようなものだろうか。 ※単元を貫く課題につなげる導入の問い 			①	【態①】中項目の学習課題と単元を貫く学習課題について自分の考えを書いている。また、単元の学習計画を立て、見通しをもつことができる。 <u>ワークシート</u>
単元を貫く学習課題（問い）：北海道地方の特色を生かした観光とはどのようなものだろうか						
2	北海道の自然環境や気候の特色と人々の暮らしの工夫について、地図や雨温図、写真等の諸資料から読み取り、理解させる。	・北海道の自然環境や気候にはどのような特色があり、人々はどのように工夫して生活しているのだろうか。 ※課題追究の土台となる北海道の自然環境等の概要をつかませる問い	① ②			【知①】北海道の自然環境や気候の特色と人々の暮らしの工夫について理解している。 【知②】地図や雨温図、写真等の諸資料を適切に読み取っている。 <u>ワークシート</u>
3	北海道地方に暮らす人々の生活・文化や産業について、自然環境への対応に着目して、情報を収集し、ICT端末を用いてレポートを作成させる(個人)。 ※人々の生活、文化、産業の3つ視点でグループを分け、役割を分担させる。	・北海道地方に暮らす人々の生活・文化や産業は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。 ※調べ学習の視点となり、北海道の地理的な特色や課題を追究するための問い	②	①		【知②】自然環境を中核として、生活・文化や産業などについて調べ、課題解決に必要な情報を整理している。 【思①】課題について、調べた内容を基に、自分の考えを根拠と理由を明確にして文章で表現している。 <u>レポート（文書作成ソフト）、根拠資料</u>
4	レポートをもとに、自分の調べたことや考えを他者（同じ視点から取組んだ生徒）と交流し、レポートを加筆・修正させる。 異なる視点から取組んだ生徒で考えを交流し、考えを班でまとめ、全体で交流させる。	・北海道地方に暮らす人々の生活・文化や産業は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。 ※調べ学習の視点となり、北海道の地理的な特色や課題を追究するための問い		①	②	【思①】課題について、調べた内容や他者の考えを基に、多面的・多角的に考察している。 【態②】他者の考えを取り入れながら、課題について考えようとしている。 <u>レポート（文書作成ソフト）</u>
5	人々の生活、文化、産業の異なる視点から調べ考えた生徒でグループを編成し、付箋を用いて考えを交流しながら、北海道地方の特色を追究させる。	・北海道地方に暮らす人々の生活・文化や産業は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。  ・北海道地方の特色を生かした観光とはどのようなものだろうか。	①	①	②	【知①】北海道地方の地域的特色について、多面的・多角的に理解している。 【思①】課題について、調べた内容や他者の考えを基に、多面的・多角的に考察している。 【態②】他者の考えを取り入れながら、課題について考えようとしている。 <u>レポート（文書作成ソフト）</u>
6	課題について、5時と同様の班で考えさせ、個人の考えを根拠と理由を明確にして文章で書かせる。 単元の振り返りを記述させ、交流させる。	・北海道地方の特色を生かした観光とはどのようなものだろうか。	①	①	① ②	【知①】北海道地方の地域的特色について、多面的・多角的に理解している。 【思①】北海道地方の地域的特色について、調べた内容や他者の考えを基に、多面的・多角的に考察し、根拠と理由を明確にして文章で表現している。 【態①②】他者の考えを取り入れながら、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 <u>レポート（文書作成ソフト）、根拠資料、ワークシート</u>

単元のまとめ 北海道地方は夏の涼しさや冬の積雪などの気候や、食も含め豊かな自然を活かした観光が発展し、国内外からの観光客を集めている。今後、観光を通じて豊かな自然を守り、環境を保全していくという持続可能な観光の在り方が求められており、自然の仕組みを学ぶエコツーリズムが広がっている。

※単元テストは東北地方の学習の後に実施